

「未来を作るチャレンジ」ICTを活用したPTA時短化計画

子どもと学校によりそう参加しやすい新しいPTAを目指して

渋谷区立中幡小学校PTA PTA会長 田口 紀子, 長尾 あゆみ, 松田 いずみ

キーワード: PTA、働き方改革、ICT活用、プログラミング学習、コミュニティ・スクール

実践の概要

中幡小学校PTAでは、平成30年度からICTを積極的に活用し、「忙しい保護者でも気軽に参加できるPTA」を目指して、PTA業務の改善と効率化を行い、「PTA活動時短術」のモデルケースとなるべく改善を行っている。

1. 目的・目標

(1) ICT活用によるPTA業務の時短化計画

「PTA業務の多さ」によるPTA参加者の減少を解消すべく、ICTを活用した効率化・時短化を目指した。「仕事や家事の合間に、自宅からでも参加できる」という目標実現のために、将来のデジタル化を見据えた情報共有の場としてのPTA公式ホームページ開設のほか、オンライン会議と連絡用に専用SNS「Slack」、共同作業用にGoogleドライブ、Googleフォーム等の導入を行う。

(2) プログラミング体験教室の実施

渋谷区が推進している「コミュニティ・スクール」構想に基づき、地域が学校づくりをサポートする活動の一環として、PTA主催による親子向けのプログラミング体験教室を開催する。渋谷区立の全小・中学校に貸与されているWindowsタブレットの活用をうながす。

2. 実践内容

2.1 ICT活用によるPTA業務の時短化計画

PTA業務効率化のために、PTAの実務作業を行う中幡小PTA総務部（以下、総務部）での活動について、平成30年度は以下のICTの導入を行った。

- 中幡小PTA公式ホームページの開設・運営
- オンライン会議・連絡用SNS『Slack』の導入
- 共同作業用『Googleドライブ』の導入
- アンケート入力用『Googleフォーム』の活用

ICT活用を最初に行ったのが、総務連絡手段だ。総務部では毎週のように話し合いを行わなければならない

が、全員の時間を合わせる事が難しく、家庭や仕事への影響も少なくないため、無料で利用できる専用のプライベートSNS『Slack（スラック）』を早期に導入した。同時に早めに導入したのが、Googleドライブだ。新学期は新しく入る新1年生や全校生徒に向けて、PTA関連資料が10種類ほどあり、データの修正や確認のために、配布書類のデータはすべてGoogleドライブに保存し、共同作業を行った。また、作業がかぶらないよう、ドライブ上に作業管理表を作成し、担当者が作後に作業内容を記入するように努めた。



写真1 Slack（スラック）実例

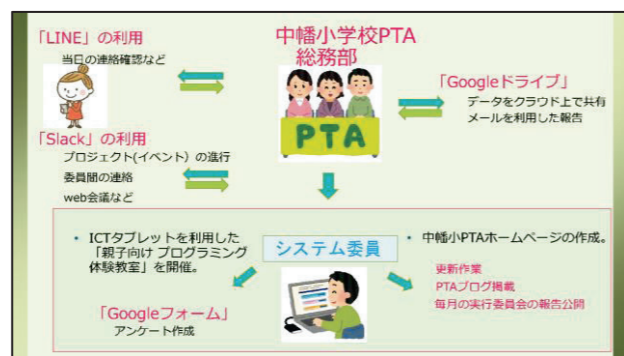


写真2 PTAの実務作業

毎月の作業に必要なICTツールの導入が一通り終わったところで、次に着手したのが、中幡小PTAの公式ホームページの作成だ。PTAの紹介や、毎月開催している実行委員会の報告だけでなく、地域イベントや校庭開放のスケジュールなどを掲載している。また、PTA会員からの連絡窓口として、意見投稿も受け付けるようにメールフォームも設置した。

さらに、これまで紙ベースで行ってきたアンケートをデジタル化で行う準備として、試験的にGoogleフォームでのアンケートのテストも始めた。

2.2 プログラム体験教室の実施

平成30年7月、中幡小PTA主催によるワークショップ『親子プログラミング体験教室』を開催した（写真3）。2020年から実施される小学校でのプログラム授業必修化に向けて、児童とその保護者にプログラミングの概念を知ってもらい、実際のプログラミングを体験してもらうことを目的としている。また、渋谷区から全校生



写真3 中幡小PTA『親子プログラミング体験教室』

徒に配布されているWindowsタブレットを今年度の夏休みに初めて長期間持ち帰ることになっており、家庭での活用方法の一例を紹介する意図もあった。

今回の開催にあたっては、夏休み期間に開催したため、児童がひとりで参加できる場所として、学校でもっとも広い教室をお借りした。これらのイベントを開催する際、学校の理解・協力をいただくことは必須である。そのため最初にワークショップの詳細を記した企画書を学校へ提出し、ワークショップの概要と目的を理解していただいた上で進めたため、非常にスムーズに開催することができた。

また、PTA総務部による初めてのワークショップ開催ということもあり、徹底して「ハードルを下げること」を重視した。主催側としては「体験会の内容」と「開催にあたっての準備」、参加する側としての「参加のしやすさ」だ。

まず内容と準備については、あらかじめタブレットに用意されているプログラミングツールを使うことでソフトのインストールや端末の準備を省き、さらにCSR活動している企業に講師を依頼することで費用をおさえることができた。

参加のしやすさとしては学校での開催、無料であること、また操作に慣れている各自のタブレットを使用した点だ。普段から授業に使っているため、操作の説明を省くことができ、ワークショップの開催時間をプログラミングに集中することができた点も大きい。

夏期合宿の6年生をのぞいた児童300人のうち、50人弱から応募があり、当日は保護者を含めて60人ほどが参加する盛況ぶりとなった。

3. 成果

まずICT活用については、最初に予定していた導入はほぼ実現させることができた。導入半年後に総務全員へアンケートを行ったところ、「学校に向かず、自分の都合のよい時間に自宅で作業ができるのは、有職者にとって、とても助かる」

「SlackはWeb会議として重宝している。チャンネルでテーマを分けられるため話し合いがしやすく、画像やファイルデータも簡単に共有できる」など、メリットを感じたという意見が多く寄せられた。

これらのICT活用については、渋谷区の小学校PTAの報告会（写真4）で発表を行ったことにより、「来年度から導入したい」という他校PTAからの要望が相次ぎ、ICT活用や導入に向けたアドバイスなどを行うなど、学校を超えた交流や活動のきっかけにもなった。

プログラミング体験教室においては、開催後にGoogleフォームを使った初めてのネットによるアンケートを行った。参加者からは「学校から持ち帰るタブレットのできるのうれしい」「簡単なアプリの操作で低学年の慣れていない子にも使うことができて良かった」「また開催してほしい」といった好意的な意見が多く寄せられた。

4. 今後に向けて

PTA活動において、新しいことを始めた際の課題は「いかにして継続させるか」ということだ。特に、中幡小PTAでは、PTAの実務作業を行う総務役員がほぼ1年ごとにメンバーが交代してしまうため、引き継ぎの作業が円滑にできないといった課題がある。

来年度以降のICT活用を継続するため、パソコンやネットなどのデジタルの知識を持っている保護者を募集し、新たに『システム委員会』の設置を予定している。システム委員会はホームページの管理だけでなく、総務部のアドバイザーとして、デジタルが苦手な総務役員やPTAの全会員に向けて、「わかりやすく利用しやすい」システムの運用を進めていく。



写真4 渋谷区小P連活動研究報告会

ICT活用	PTA活動	実施上の留意点
SNS『Slack』	活動ごとの連絡、オンライン会議	参加者全員が活用できるようにマニュアルを用意する
Googleドライブ	毎月の委員会の議事録、引き継ぎ書類等の共有化	利用する人のみが参加することで、説明を省き、データ損失等のトラブルを軽減
Googleフォーム	ウェブによるデジタルアンケートの設置、集計	個人情報の取扱いに注意すること
WordPress	PTAホームページの運用、内容の更新、ブログ運営、メールフォーム設置など	更新方法をマニュアル化する、専用のシステム委員会を設置し管理を一任する